

『祈りと行動の連帯の大切さ』

吉田真司

先週 3 日の憲法記念日に東京・北関東・神奈川三地方連合社会委員会 (部) 主催による「バプテスト・憲法フェスティバル 2025」が恵泉バプテスト教会で行われ、参加してきました。プログラムは賛美とリレートーク形式で、平和を望む多くの賛美 (会衆賛美、ギター演奏や独唱) と共に、それぞれの関りの現場からのトークがありました。憲法審査会の現在の状況、沖縄における基地建設の現状、日本バプテスト女性連合によるヌチドゥタカラ (命こそ宝) の取り組み報告と「平和をあきらめない!」とのメッセージ、日韓ユースフォーラム報告等ありました。より印象的であったのは「イエス・キリストから憲法を見る (意義を語る)」という言葉です。これこそ、キリスト者の特性であると思いました。そしてキリスト者がこうして共に集まって平和を求め祈願する行動の大切さをあらためて思いました。◆6 日には「能登被災地支援をおぼえる祈り会」(中部地方連合有志主催) にオンラインで参加しました。金沢・富山・福井のそれぞれの教会による支援活動の報告があり、共に祈りを合わせました。この祈り会の事務局である秋山義也牧師 (瑞穂教会) からいただいたメッセージです。「こうした働きが起きた背景には私自身、相模中央教会で学び体験した恵みがあると実感しています。毎月東日本大震災のために祈り、募金をし、教会の委員会で野菜を運ぶことを話し合った体験です。瑞穂教会でも現在能登被災地支援チームが数名起こされ、毎月礼拝出席者が順番に祈っています。続けて祈る、誰かと祈る、『祈り』の力、その大きさをまざまざと見せつけられています。」当祈り会は毎月第一火曜日の 20 時よりオンライン (ZOOM) で行われていきます。覚えて参加したいと思います。◆8 日にロバート・フランシス・プレボスト枢機卿が第 267 代ローマ教皇に選出されました。9 日の朝日新聞 (デジタル) の文章から要約しますと、同氏は、司祭として約 20 年間を南米ペルーで過ごし、貧しい人や移民に寄り添ってきた人であり、気候危機への問題意識が高く、(多様性を重視する改革を含む) 教義にかかわる重要な問題を議論する世界代表司教会議 (シノドス) の取り組みを支持してきた、と。世界平和を求めるリーダーシップを望み祈りましょう。

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)		
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前 10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間 4-2 4-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>